

令和5年3月16日、西牧大使は、ナミビア教育・芸術・文化省との協力により、カレー同省副大臣出席の下、同省内にて3月に活動を終了する JICA 海外協力隊員4名に対し、西牧大使及びニーポンドカ大臣の署名入り感謝状の授与式を実施しました。

本感謝状授与は、海外協力隊員の活動について感謝の念を形にしたいという思いから、西牧大使がカレー教育副大臣に提案したことにより実現したものであり、2006年の JICA 海外協力隊員のナミビア派遣開始以来、初の授与となりました。

今回感謝状を授与した隊員（派遣期間は2021年9月24日～2023年3月21日）は、大久保 雅弘隊員（モーレソン特別支援学校、障害児・者支援）、川畑 舞隊員（エロンゴサ小学校、小学校教育）、菅原 真実隊員（カルンドゥウ小学校、小学校教育）、松下 歌歩隊員（フルイット小学校、小学校教育）の計4名です。



（左より）菅原隊員、川畑隊員、カレー教育副大臣、本使、松下隊員、大久保隊員

ナミビア教育省からは各隊員に対し、ナミビアの土産品の贈呈も行われた。

西牧大使は、授与式での挨拶において、JICA 海外協力隊員のナミビアへの派遣は歴史的に成功しており、日・ナミビア両国にとって重要なプログラムであり、隊員の方々におかれましては、日本へ帰国後も、今回授与する感謝状を胸に、誇りをもって教育現場での活動を続けて頂きたい、これまでの皆さんのナミビアでのご活動・ご功績は両国の協力関係を象徴するものであり、改めて感謝申し上げる旨述べました。

当日、急な公務のために欠席したニーポンドカ教育大臣に代わり、カレー副大臣が挨拶を行い、「二国間の友好関係発展への寄与を称え、心より感謝申し上げます。隊員の方々はナミビアの子供達の心に残る活動を行ってくれ、ナミビア教育への貢献はかけがえのないものとなり、我々の遺産となっている。更に皆さんは各学校での支援だけではなく、ナミビアという国を真に理解し、地元の方々とも交流してくれたことに感謝する。教育分野を初めとする日本政府からのナミビア支援につき、日本大使館及び JICA に対し、改めて感謝申し上げます。JICA 海外協力隊員の派遣プログラムは、2 国間協力の成功例である。今後も日・ナミビア関係が発展することを祈念する。」と述べられました。



隊員への感謝状